

今年もひろびろ牧草地で妊活！

畜産試験場では、妊娠しにくい若狭牛を畜産農家から預かり、場内にある牧草地に放牧して、妊娠しやすくする「若狭牛のリハビリ放牧」を4年前から行っています。

これは、妊娠しにくい母牛を広い放牧場で運動させることによりストレスを低減させたり、生草を食べることによりビタミン類も摂れるので、母牛への体質改善効果があり、妊娠しやすくすることができます。

昨年は、3頭が放牧され3頭とも妊娠し、元気な若狭子牛を出産しました。

今年も、6月17日から県内の畜産農家2戸の若狭牛母牛3頭が、畜産試験場の放牧場にやってきました。放牧場での運動で足腰の強い母牛になり、秋には妊娠して農家に戻っていく予定です。

放牧場では、柵越しに放牧されている若狭牛母牛が見学できますので、県民の皆様も元気に運動している若狭牛を応援してください。

ただし、牛の健康をそこなうおそれがあるので、無断で野菜くずなどのエサをやらないようにしてくださいね！



放牧前に駆虫剤をつけます。



3頭仲良く草を食べてます。